

1・2月号



# まちづくり通信



発行 飛騨高山まちづくり本舗  
〒506-0845 高山市上二之町44-4  
まちひとぷら座かんかこかん  
電話 & FAX 0577-33-5282  
m-honpo@takayamashishouren.net

かんかこかんHPより、バックナンバーをご覧いただくことができます

## 見て！知って！作って！乗って！歌って！踊って！ あそびパワー全開だった二日間



= 冬のあったか縁日 2010 12/11(土)・12(日) 会場:高山市役所 =

私たちの高山市庁舎は、一夜明ければ子どもも大人も若者も集う遊びの城となり、二日間を終えると約 4000 人が訪れたことが夢だったかのように通常業務に戻ります。会場となった、玄関入り口、地下、一階、二階、三階、屋外、の多種多彩なあそびのフロアーはどれも家族連れでにぎわい、会場の活気は地域活動への新たな活力となりました。



### ●子どもの好奇心キラキラ

和太鼓の練習場に通っているという三才のちびっこ①、吹奏楽に合わせて指揮を始めた男の子②、機関車トーマスを運転することも車掌③。人をも越える自転車曲芸④にもびっくり。好奇心の種がここにはたくさんあります。



### ●好きなことに集中

混雑時は順番に並んで待つ作業やゲーム遊び⑤⑥⑦。にぎやかな中でも絵本が読めたり、昔話に耳を傾けたり、マイペースで自分のしたいことを楽しむことができます。



### ●あそび創造

#### おもちゃ再生

身近な廃物利用で楽しめる遊びのヒントが一杯。壊れていたおもちゃは「おもちゃ病院」で修理してもらい、また遊べるように⑧。



### ●みんなが主役、観客、そしてサポーター

市民ロビーのステージは次々と入れ替わります。舞台も客席も、舞台裏も同じフラットというのが、あったか縁日流⑨。



### ●幸せ売りに変身!

いつもの売店は駄菓子を買える幸売⑩に、食堂は子育て支援食堂に変身し、特別メニューでランチタイム。



### ●笑いで健康

笑いヨガ、お母さんが笑っていると、抱っこ⑪の赤ちゃんもケラケラ⑩!!



### 「冬のあったか縁日」の始まりとは？

インターネットで「冬のあったか縁日 検索」すると、冒頭からずらり登場するのは高山での「冬のあったか縁日」についてばかり。恒例ともなったこのイベントはそもそもどのようにして誕生したのでしょうか。

そのきっかけは、平成 17 年 11 月初旬、子育て支援課の呼びかけによる子育て関係団体の会合。内容は、「“つどいのひろば”の先駆者奥山千鶴子さんの講演会を 12 月 18 日に計画しているから大勢に集まって欲しい」というもの。当時、子育てにかかわる団体等がつながりあえる仕組みがなかったことから企画。会合も終盤、ひとりの女性の「講演だけではつまらない。よその話だけでなく、高山での活動を持ち寄ってみたい」の一言。市は「あと一か月しかないし・・・」、「だからできることを無理なく、自分たちでやってみようよ!」。国をも驚かせたイベントの始まりです。

(次号に続く)

### 子育て 広がる冬のあったか縁日の輪 祝開催! 下呂版子育てイベント森の宝島

2月27日(日)午前10時~午後3時

下呂市のお母さんたちも始動しました。下呂市交流会館アクティブにて、57 団体による催し。HP有り主催、問合せは下呂市子育てイベント実行委員会 0576-52-3936(下呂市児童福祉課内)

### ●縁日6年目に、こどもサポーター活躍!!

募金箱を持って会場を廻るちびっこ登場⑫。あったか縁日っ子、育っています。

### ●こども夢育て募金へのご協力 ありがとうございます

あったか縁日会場に設置した「こども夢育て募金」に寄せられた募金は 17,239 円でした。来年のあったか縁日開催に向けて活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

### 【2010 冬のあったか縁日データ】

\*入場者数 1,580 人、2 日目 2,341 人 合計 3,921 人(昨年 3,082 人)

\*参加団体 52 団体 48 プログラム \*サポーター100 人(うち学生 51 人) 冬のあったか縁日実行委員会

銭湯・町家まちづくり ぶらり気ままに空町にひたれる日



### 「高山の原風景」空町を楽しむ一日

2月19日(土) 空町界隈の各会場を自由に選んで風呂&散策  
昔の面影を色濃く残す空町の魅力を満喫できるスペシャル企画。  
銭湯につかったり、5つのメニューが楽しめるプログラムです。

- ①銭湯 DE 三絃の奏(かなで) ◇鷹の湯 34-3561(14時半～21時半)  
(座敷にて14時～沖縄三線、15時～長唄、16時～津軽三味線)
- ②町家 DE そば打ち見学会 ◇大黒屋 (10時～11時頃)
- ③町家 DE 珈琲タイム ◇WA・SA・BI (10時30分～12時頃)
- ④町家 DE 絵本の魅力 ◇ピースランド  
(14時～15時 大人のための絵本談義)  
(19時半～21時半 坂山保之の漫談と一人芝居ライブ)
- ⑤町家でイタリア料理教室 ◇オーストラリア・ラ・フォルケッタ  
(11時30分～1時30分)  
定員10人 食事代込み参加費3,000円 **要申込**
- ⑥町家 DE ほろ酔い会 ◇かくれん墓 (18時～)  
どなたも参加できる交流会 特別企画料金2500円は**要申込**

主催：NPO 法人飛騨高山町家再生・住替え支援センター  
共催：たかやま銭湯愛好会あいらぶ湯  
詳細・申込み 35-2676 飛騨高山町家再生住替え支援センター



### 講座 地域の魅力再発見 蔵元に学ぶ飛騨の地酒講座

市内7つの造り酒屋を一週間ごとに公開する酒蔵巡りの只中。日本酒の基礎や地酒について蔵元から学ぶ酒講座が開催されます。

2月26日(土)午後1時30分～3時30分

- \*高山市民文化会館 2-5 \*20歳以上の市民(通勤・通学可)
  - \*定員40名。応募多数の場合抽選
  - \*参加費 無料(記児10名まで要申込み)
  - \*申込み 電話、FAX、市HPから \*締切2月17日(木)
- 主催・後援：高山市生涯学習課  
問合せ先 住所：高山市花岡町2-18 市民活動部生涯学習課  
35-3155 E-Mail: shougaigakushuu@city.takayama.lg.jp



### 子育て講座 笑っている父親が社会を変える!?

『今日からイクメン』教室 講座と実践講座 (参加無料)



よい父親でなく笑っている父親を増やそうと、活動をしている父親支援のNPO「ファザーリング・ジャパン」。共に二児のパパであるイクメン講師による、ぎふイクメンプロジェクト講座です。

2月26日(土)13:30～15:45 会場：高山市役所 [定員40名]

一部 イクメン講演会「家族が喜ぶイクメンになろう」【記児無料】  
講師：榊原 輝重さん(ファザーリング・ジャパン理事・FJ 東海支部長)

二部 イクメン実践講座「絵本ライブ in 高山」(子どもさんと共に)  
講師：榊原輝重さん、横井寿史さん(ファザーリング・ジャパン社員)  
申込み：33-5055 かんかこかん 締切2月16日(水)

### 募集 アンテナショップに 親しみやすい呼び名を!!

昨年九月に本町二丁目に、新高山市の魅力、見どころ、特産品などを広く紹介し、市街地に訪れた観光客を周辺九地域へ誘導することを目的にオープンした「飛騨高山アンテナショップ」に、このたび公式HPができました。

【アドレス】飛騨高山アンテナショップ <http://www.info-takayama.org/>

また、アンテナショップでは、観光客にも市民にも親しみやすい愛称を公募しています。応募者の中から最優秀賞1名、特別賞数名。応募締切は2月28日(月)です。詳しくはHPへ。

問合せ：77-9200 飛騨高山アンテナショップ

### 飛騨の特産品探訪① 小さいのに実用的です～

#### 山椒粉が持ち歩ける さんしょう携帯ストラップ

おなじみの緑の缶が、5円玉にのる小さい容器のストラップになっています。さんしょう粉を製造する高山市奥飛騨温泉郷の「(有)飛騨山椒」製。本体と山椒粉小袋0.2g×3ヶ付。840円。

3月1日(火)一日市にアンテナショップにて販売。



### まち歩き 二十四日市 は 商売 匠売 笑売

厳しかった今年は70年程前の寒さとのことでしたが、今年の二十四日市は青空に太陽が顔を出す好天となりました。本町一丁目～四丁目商店街の露天にはテントがひさしを並べました。底冷えのする固まった雪の上で、重ね着をして、ストーブに寄り添ってのお店番です。店頭ワゴンセール、食べ物屋台に地元グルメ、海産物、甘酒、駄菓子等々、そして冬の市ならではのバンドリ、しょうけ、ひのき笠など伝統の民具が古今の飛騨の暮らしの断片をうかがわせます。

出店総数は昨年より30店ほど減少、例年に比べて三、四丁目には空きスペースが目につきました。ここ数年出番のなかった市民活動や地域活動の出し物なども復活できるかもしれません。

人混みからはずれて国分寺前の円空洞へ寄りました。ぽつぽつとお客さんが来られます。今日は天気がよかったので午後から家を出て来たという下呂のおじいちゃん阿弥陀仏を捜していました。

「これが昔からのさるぼぼや!」と二人で店に入るなり説明を始めたのは、以前東京の飛騨高山展に足を運ばれたことのある男性。今回旅の終わりに店の前を通りかかり、素朴なさるぼぼと再会した第一声でした。ガラス棚の奥に陳列されていた古びた「山彦人形」にも感激され購入されていかれました。お守りの山彦人形をよく見れば、頭部分は白い雪をかぶったきれいな山の峰そのものです。雪の舞う高山で、土地の祈りを宿した郷土玩具との出会いは、旅のいい思い出になったこと



開運魔除 山彦人形 山彦洞

登山家で民族研究家の民情通蔵(山彦)氏(1898～1968)により郷土玩具として昭和初期に創作された。北アルプスの山々の朝夕の変化や季節の移ろいを多彩な色で模し、烏天狗のような表情。

でしょう。二十四日市、郷土玩具から自然と共にある飛騨人の心にふれたひとときでした。

### New ほのぼのキッチン&バー \* 食堂ひなぎく \* オープン!!

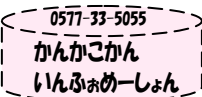
オープンから九年目、本町三丁目の集合店舗四つ葉に小さな食堂が開店しました。川沿いの店舗の閉店を機に、やりたかったお店をはじめたのは、輸入雑貨の凡才さんのお客さんとして前から四つ葉になじみのあったお二人。岩田さん(左)は小学生のお母さんで企画会社勤務から、鈴木さん(右)はホテル勤務を経ての起業です。



自分たちで内装を仕上げられたというナチュラルな風合いの、どこかなつかしいような食堂は喫茶、食堂、バーとして朝から夜半まで営業。「皆さん、お仕事や生活に毎日忙しいけれど、気軽に来てもらってのんびりできるお店。おじいちゃん一人でコーヒー飲み、女の人が一人でもお酒を飲みに来ていただけるお店にしたい」とのこと。昼のランチと夜の時間帯の両面が楽しめるようになった四つ葉こみち。本町通りに面して置かれた青いイスが営業中の目印です。



食堂ひなぎく 本町三丁目四つ葉こみち奥  
朝10時～夜0時 火曜定休  
080-5113-4623 岩田さん



こどもひろば・情報ひろば・まちづくりひろば  
まちひとぶら座かんかこかん  
開館時間 10時～5時(年末年始を除き無休)

### ■手作り絵本講座 今年は作ってみませんか?

毎回好評の三回で仕上げる絵本作り講座です。

- 2/15(火) 10時～12時 イメージづくり
- 2/23(水) 10時～12時 作業スタート
- 3/ 2(水) 10時～12時 仕上げ

参加費：500円 定員10組 締切2月12日(土)

※かんかこかんの申込み用紙でかんかこかんへ  
託児は、毎回500円(先着5組まで) ※要申込み

